

万波ブナ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・飛騨森林管理署
所在地	岐阜県飛騨市
面積	295.84ha
設定年	平成2年4月設定・平成30年4月変更
保護林の概要 (設定目的)	日本海側の冷温帯を代表するブナの極相がまとまって分布していること、比較的低い標高にかかわらずイワイチョウ、コバイケイソウ、チングルマやキアラボク等の貴重な植生が分布していること及びモリアオガエル、クロサンショウウオ、オオルリヤマトンボ(湿原が発生源)等の動物が生息しているため森林を保護する。



モニタリング調査の概要

実施年度	平成30年度
調査項目	森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査)、その他の調査等(資料調査・聞き取り調査)
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを3箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	確認できた影響「力:その他(倒木等)」 概ね良好に保護・管理されている。 ブナの立枯れ木や倒木等があるが、林床にブナの実生が確認されていることから、倒木更新が順調に進んでいると思われる。 よって、森林の更新状況を把握することから、引き続きモニタリングを継続することが適当である。